

① 学校組織改善に関すること

【小・中学校】

- ・業務内容が個人に集中しないように、部長や主任、行事等を補佐する職員を、必ず指導部内で検討するように管理職が指示を行った。
- ・事務主幹を中心に校務分掌の組織の中に「教育環境整備部」を位置付け、児童・保護者・教員の教育条件等を整備し、充実を図ることができた。
- ・全職員が学校経営に関わることを目的として「学校組織マネジメント研修」を年間2回実施し、次年度に向けての「SWOT分析」も行った。このことにより、職員の学校経営参画意識が高まるとともに、校務運営上の同僚性も高まっている。
- ・隣接する小学校の複式解消のために、中学校教員が乗り入れ授業を行った。

【県立学校】

- ・校務分掌の組織である「環境整備部」と「保健部」の統合を行い、「環境保健部」とし、業務の効率化を図った。
- ・昨年度まで細分化されていた組織体系を見直し、一つの部署を大きくしたことで、様々な対応すべき事項に全員で取り組むことが可能となった。
- ・2名の主幹教諭を柱に、様々な課題解決を同僚間でサポートしつつ、縦・横の組織の連携が図られ、全職員で課題を解決していこうとする体制が整った。
- ・前年度に各主任や職員から聞き取った意見を考慮しながら、校務分掌の配置人数の見直しや構成員の入れ替えを行い、学校組織体制の改善を進めた。